

独立第三者の保証報告書

2026 年 6 月 26 日

東亜建設工業株式会社
代表取締役社長 早川 毅 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所
代表取締役 福島 隆史



1.目的

当社は、東亜建設工業株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、国内外すべての建設現場・オフィスを集計範囲とする 2025 年度の全エネルギー消費量 399 GWh、CO₂ 排出量 Scope1 93.3 千 t-CO₂、Scope2（ロケーションベース）3.68 千 t-CO₂、Scope2（マーケットベース）2.19 千 t-CO₂、Scope3（カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,11,12,13 計）1.58 百万 t-CO₂e（以下、総称して「環境パフォーマンスデータ」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、環境パフォーマンスデータが、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。環境パフォーマンスデータは会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2.保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。

当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問・算定方針の検討
- ・算定方針に従って環境パフォーマンスデータが算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3.結論

当社が実施した保証手続の結果、環境パフォーマンスデータが会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上